

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ハーティーマインド なぎの作成日: 平成 25 年 11 月 26 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族の面会や行事参加時に、意見や要望を聴き取っているが、家族同士の交流で、家族との新しい関係を構築するための体制を整えていく。	家族と話す機会が少ない場合の対応を考慮し、積極的に事業所から家族にアプローチし、家族からの要望を聴き取り、家族との関係強化に取り組んでいく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	数名の利用者は、日常的に自力で自由に外のベンチまで出かけ、景色を眺めているが、他の利用者も、個別の対応で支援し、気分転換を兼ねた外出の支援に取り組んでいく。	利用者の重度化が進み、全員での外出が困難な場合は、職員と利用者が個別の外出を考えて、安全で安心して外出できる支援に取り組んでいく。また、ボランティアによる外出の支援も検討していく。	12ヶ月
3	15	職員を育てる取り組み	入居者が高齢化し重度化した場合でも、当苑で継続して、快適な生活を送っていただけるように、職員の技術向上に取り組んでいく。	隣接施設での実施研修を行い、必要な技術を身につけてもらう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。